

評価項目	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標（重点は○数字）・具体策			
<p><b>I 特色ある学校づくりのための学校運営</b></p> <p>① 学校経営の充実と創意と活力のある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標・方針等の共通理解</li> <li>創意ある教育課程の編成</li> <li>体験活動を重視した活力ある教育活動の実施</li> </ul> <p>② 教職員の能力・資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内の研修体制と研修内容の改善</li> <li>教職員評価制度を活かした能力・資質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標がみんなにわかりやすい。</li> <li>目指す学校像（キャッチフレーズ）について行事等を通して児童・保護者に伝え、各自の取り組みを意識させることができた。</li> <li>新カリキュラムを見据え、行事の内容や方法を再考し、時数削減等の改善をすることができた。</li> <li>学習発表会が教室でブロックごとに時間をずらしてできてよかった。兄弟のいる家庭でもすべて参観できる配慮がなされた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修では、個々の意見や考えが出て深まりのある話し合いができています。</li> <li>勤務時間自己把握シートの入力は、最初は大変だったが、時間を決めて効率よく仕事ができるようになった。</li> <li>学力向上及び学校課題、危機管理等の研修に全校体制で積極的に参加した。</li> <li>今年度は学力向上指導員の訪問があり、全員の授業を見てご指導いただいたので、例年の授業研究会に比べると充実していたと思う。</li> </ul>	<p>☆月1回の定時退庁日を設けるときは、研修等を行わないようにする。</p> <p>☆学力向上指導員からは、現在の課題を指摘していただくとともに、改善していくための手立てをアドバイスしていただけるように依頼する。</p> <p>☆学力向上推進リーダーに指導してもらいたいことを明確にして授業に臨むようにする。</p> <p>☆ICTの使い勝手をよくする。（教委等にも働きかける。）</p>	<p>○校長が先頭に立って目指す学校像を説明していたのが印象的だった。</p> <p>○キャッチフレーズは浸透していると思った。</p> <p>○学校教育目標、方針等の理解は十分に分かりやすく、教育活動の実施など良かったと思う。ただ、学習発表会に関しては体育館で行う形の方が良かったと思う。</p> <p>○学習発表会が教室になり良かったという人もいたが、小さい学校ならではの全学年（他学年）の発表が見られなくなったのは残念。教室だと自分の子以外の学年は見に行きづらい。</p> <p>○教育目標はとても分かりやすく、先生方も一生懸命取り組んでくださっていることがわかる。今後も先生方、保護者が協力し合ってやさしく、かしこく、たくましい子供を育てていけたらいいなと思う。</p> <p>○学校評価の評価項目の言葉だけでは、何について意見を求められているのかがわかりにくく、回答するのが難しかった。もっと早い時期に今年度の重点目標について説明していただけるとありがたい。</p> <p>○児童や保護者、先生との関係が良いほど良い仕事ができると思う。</p> <p>○先生方が求めている内容の研修をどんどん実施していただければよいと思う。</p> <p>○保護者は、教職員の方々が能力資質向上のために、研修会やいろんな取り組みをしていただいていることに感謝している。今後も活動を続けていただきたい。</p> <p>○個別指導をしていただけるのは大変ありがたい。</p> <p>○ICTの活用で先生方の業務負担の軽減になるのであれば、よりよい環境を整えてほしいと思う。</p> <p>○電子黒板を使用しながらの勉強は、見やすくわかりやすそうで学力向上にもつながると思う。</p> <p>○電子黒板での授業は知りたい情報がすぐに出て、黒板への記入時間の短縮にもつながる。余計な時間がないためより一層授業の内容が分かりやすく、深い授業ができるようになったのではないかなと思う。</p>
<p><b>II 確かな学力の向上を図る学習指導</b></p> <p>① 個に応じた指導方法と評価の工夫・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「考えて分かる楽しい授業」の実践</li> <li>学校課題研修の充実</li> <li>ICTの効果的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上推進リーダーの指導や模範授業等により、授業改善がなされている。</li> <li>どの学年の授業も参観することができたのは参考になった。</li> <li>ペア学習では、自分の考えだけの発表になっているので、さらなる深まりをもたせるために、友達の良いところを紹介しながら定着させたい。</li> <li>発表に対して消極的な児童が多く、考える授業において意見が出にくい感じがあるため、児童同士でもなかなかコミュニケーションが取れていない。</li> <li>個別指導ができています。（T2の先生の協力のおかげ）</li> <li>各教室に電子黒板が設置されているのは、教師にとっても児童にとっても学習効果の面で大きい。</li> <li>学校課題研究では、指導案検討を主に上下ブロックごとに実施したので、意見が出しやすく効率的に行えたと思う。学力向上推進リーダーからのアドバイスもいただいたのはよかった。</li> <li>タブレット導入によりICT環境に変化があった。うまく活用していくためにも周りの環境を整えていく必要がある。授業への生かし方や操作方法をさらに研修して学びたい。</li> </ul>	<p>☆協力と呼びかけるコーナーをつかって配付するなど、学年だよりを活用して協力を得る。</p> <p>☆ランドデザインの目標「学力アップ週間の活性化」を「学力アップ週間の充実」に変える。</p>	<p>○ノーマディアデーに関して、確かに各家庭内での実施なので、守れているかはわからないが、そのような期間を設けることで、保護者としては、意識して子供たちに声掛けをすることができるので良いと思う。</p> <p>○ノーマディアデーに関しては、守られているかがわからないため、実施に関して疑問が残る。</p> <p>○ノーマディアはなかなか守れていないのが現状だと思う。</p>
<p>2 基礎的基本的な内容の定着を図る家庭学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携した家庭学習習慣の育成</li> <li>「家庭学習の約束」の啓発とノーマディアデーの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リレーノートを始めたり、友達の家学習を教室掲示したりすることにより、みんなで良いところを認め合い、自分でがんばろうとすることができた。</li> <li>ノーマディアデーに関しては、守れているのかどうか、実態がよくわからない。</li> <li>家庭の協力もあり、宿題は毎日忘れずに出している。</li> <li>学力テスト前は応用問題をくり返し宿題に出すことで定着できた。</li> </ul>	<p>☆ひまわりポケットにあるワークシートを印刷して必要なときに使えるようにしておく。</p> <p>☆デジ徳（ひまわりポケット）は休み時間に立ち上げておく。</p> <p>☆朗読と映像が一緒に動くものを活用する。</p>	<p>○道徳は重要だと思っている。予定時間を超えて実施していただけたことは大変ありがたい。</p>
<p><b>III 自己指導能力を高める児童・生徒指導</b></p> <p>1 「道徳科」を要にした道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の時間の充実</li> <li>多面的・多角的に考える道徳科の授業の展開</li> </ul> <p>② 自己理解（自尊感情）を深める指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペア学年、縦割り班活動の充実</li> <li>あいさつ・ありがとう運動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1で時間を確保し、予定時数を超えて実施することができた。</li> <li>自分の体験と教材を結びつけて考えるとき、生活経験がないため発言できないこともあるので、更に身近なことで考えさせるようにしたい。</li> <li>指導書の展開例を参考にし、多面的に考えられるような発問を工夫することができた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの中では大きな声であいさつができるが、来客や先生方にはなかなかできないところもある。</li> <li>あいさつは比較的できているが「明るく元気に」「自分から」など、まだまだ課題は大きい。こちらから挨拶しても挨拶しないことをまずは改善したい。</li> <li>あいさつ運動はよく取り組んでいた。声の大きさや心を込めたあいさつは課題である。「明るく・元気に」という点では引き続き指導が必要であると感じる。</li> <li>異学年交流はとても良いと思うので、縦割り班活動をもっとたくさんしていただきたい。</li> <li>月曜日の外清掃が雨天中止のことが多かったので、ふりかえてペア学年の活動をさらに増やしてほしい。</li> </ul>	<p>☆あいさつ運動週間中、あいさつがよくできた児童に委員会がカードを渡す。カードは担任がチェックして回収する。</p> <p>☆あいさつ運動週間は、朝だけでなく業間も行う。</p> <p>☆あいさつ運動期間中の下校時、バスごとにローテーションで2列に並び、その間を他の児童があいさつしながら歩いて行く。</p> <p>☆年間を通してペア学年での活動を推進するために、月曜日</p>	<p>○あいさつ運動は、小規模校だからこそできる取り組みだと思うので、今後も引き続き取り組んでほしい。</p> <p>○あいさつは私生活（家庭）でも元気な明るいあいさつをしっかりと身につけさせてあげたいと思う。</p> <p>○家庭でも「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」を習慣化する取り組みをしてはどうか。</p> <p>○他学年間で「ありがとう」を伝え合えることは素敵。「ありがとう」</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学年でのわくわくタイムも始まり、異学年と交流する機会が増えた。</li> <li>・ありがとう運動では、学年ごとのなかよしの木にしたことで昨年度のような学年差がなくなった。それぞれの学年でペースはあるが、マンネリ化することなく取り組んでいる。他学年間で「ありがとう」を伝え合っている時もあり、児童が興味を示して読む姿も見られる。</li> </ul>	<p>の外清掃が雨天中止になった場合は翌日と振り替える。</p> <p>☆読書への関心を高めるために、担任から声かけ指導を行う。</p> <p>☆トイレのサンダルをそろえる場所がわかりやすくなるようにマークを付ける。</p>	<p>と言われると嬉しいし、「ありがとう」と言われる行動を自然にとれるようになるのでいいと思う。なかよしの木を読み心がほっこりした。</p> <p>○小さい学校なので、ペア学年での活動は、これからの中学校生活や社会人になってからたくさんの人の中で生活することを見据えたよい活動だと思う。</p>
<p><b>IV 健康・安全、体力の向上</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローテーション体力づくりやマラソンタイム等、季節ごとの運動を縦割り班で実施することができた。</li> <li>・普段の外遊びは個人差が見られるが、わくわくタイムの時は多くの児童が外遊びをしている様子が見られるので良いと思う。</li> <li>・50m走が、定着してきている。外遊びにつながるので今後も実施してほしい。</li> <li>・学校として体育の時間の中で一年を通して取り組むような体力づくりがあってもいいのではないかな。</li> <li>・マラソンは体力づくりと体育の時しかやっていない。昼休みやフリータイムの時は走っていない。</li> <li>・外遊びがよくできている。一緒に外で活動することによりいろいろな遊び方を伝えていきたい。</li> <li>・外遊びを好まない児童が見られる。ほとんど全員がスクールバスによる登下校であり、体力の低下が心配である。</li> </ul>	<p>☆縦割り班活動は、月1回必ず確保する。木曜日にできない場合は清掃を減らして別日に実施する。</p> <p>☆体力づくりの時間とわくわくタイムの時間を確保する。</p> <p>☆なかよし班によるわくわくタイムを積極的に実施する。(全校生で遊んだり、いろいろな遊びに取り組んだりできるように、先生が教えることも必要)</p> <p>☆マラソン期間中は、マラソンタイムと同じ曲を昼休みにも流す。</p>	<p>○マラソンや50m走は、具体的な目標タイムを設定させて取り組むといいのではないかな。</p> <p>○学校から帰ってきてからの外遊びが減っている現代において、わくわくタイムの時間を体力づくりに繋げていただけるのは助かる。</p> <p>○なかなか運動することがなくなってきているので、学校の体力づくりは今後も実施してもらいたい。(マラソン大会やなわとび検定はなくさないでほしい。)</p> <p>○休み時間なども外遊びをなるべくしてほしい。</p> <p>○子供に「今日は何して遊んだの?」と聞くと、だいたいサッカーと答える。私たちが子供の頃は、かんけり、たかおになど、ゲームのような遊び(ルールがある)をたくさんしていた。先生方には、たくさん的人数でルールを守りながら行う遊びも教えていただきたい。</p>
<p><b>① 教科体育・体育的活動の充実と共遊の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通した体力づくり運動の実施</li> <li>・外遊びの奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢については、授業中声かけを多くしたり、作業を始める前に全員で姿勢をよくしてから始めたりするようにした。</li> <li>・歯みがきはCDに併せて定着している。さらに継続したい。</li> <li>・骨ピーン体操は、ほぼ毎日実施できている。児童の取り組みもよく、徐々にきちんとした動きができるようになってきている。</li> <li>・骨ピーン体操が最新版に更新されたり、正しい姿勢の掲示物が作成されたり、正しい姿勢の推進が図られている。</li> <li>・姿勢指導は、毎日毎時間、継続指導してきている。1学期に比べて改善されつつある。</li> <li>・歯磨きCDを活用して指導ができている。</li> <li>・養護教諭が巡回し、児童の意識を高めることにつながっている。</li> </ul>	<p>☆歯科衛生講話の実施方法や対象等を見直し、全学年(低中高ブロック単位)に歯みがきの指導や歯の染め出しを実施できるようにする。外部講師が調整できない場合は養護教諭が実施する。</p> <p>☆歯みがきの時間の巡回は、効果があったので継続する。</p> <p>☆生活セルフチェックは継続するが、質問項目を見直し、実態に合ったものに変える。(夜9時以降のテレビ・ゲームに「動画」を加える。寝るのが遅くなった理由を記入する欄を設けるなど)</p> <p>☆給食週間中、各学年の給食に養護教諭が訪問し、食事のマナーや会食の仕方などについて指導する。さらに定着を図るために給食クイズを実施する。</p>	<p>○家でも姿勢について注意している。学校でも指導していただけて助かる。</p> <p>○歯磨きの時間に巡回していただいているのはありがたい。ちゃんとした磨き方など何か少しでも声をかけていただけると意識できると思う。</p>
<p><b>V 家庭・地域との連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への学年だよりや連絡帳に連絡カードを貼り付けて学校の様子を発信している。</li> <li>・プール当番の時、保護者の協力(清掃・監視)が得にくい場面があった。</li> <li>・ホームページを度々更新しているにも拘わらず、保護者があまり見ていないのが残念。</li> <li>・学校ホームページの更新は、先生方の協力により増えてきているが、滞ってしまう時期があった。</li> <li>・地域ボランティア等の活用は例年通りそれぞれの学年に応じて活用されているが、地域素材の活用は十分と言えない。</li> </ul>	<p>☆ホームページのPRを継続していく。</p> <p>☆次年度はプール当番依頼の文書に仕事内容を明記する。また、PTA役員会の安全体育委員会でも監視時の役割について協力を依頼する。</p>	<p>○もっと地域の人材や資源を活用してほしい。</p> <p>○敷地内の環境整備(除草)など、保護者や職員だけでは手が足りないようなものについては、学校評議員を通して地域に声をかけることもできる。困っていることがあれば気軽に相談してほしい。</p> <p>○保護者にPRするために、学年だよりの枠外などにホームページがある旨のフレーズを記載しておくのはどうか。</p> <p>○ホームページは行事やプール実施などしか見ない。もっとPRをしてくれば(子供を通してでも)見る機会が増える。</p> <p>○ホームページは、やはり写真をたくさんの方のせていただくともっと見たいという思いになると思う。更新を頑張っていただきたい。</p>
<p><b>② 家庭と連携した家庭学習習慣の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力アップ・ノーメディア週間の活性化</li> <li>・学校だより等による保護者への啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題は毎日全員提出できている。保護者も協力的である。</li> <li>・家庭学習が習慣化している児童とそうでない児童の差が大きい。学校からの啓発活動はされていると思うが、学力向上への意識は各家庭によって差が大きいと感じる。</li> <li>・学力アップ旬間では、保護者の協力もありいつも以上に家庭学習に熱心に取り組んでいた。</li> <li>・家庭学習リレーノートは取り組んで3年目になるので、保護者の理解も得られるようになり、効果が出てきたと思う。</li> <li>・保護者の方の協力で自主学習ノートが定着している。</li> <li>・終わったノートを教室において、すぐ誰でも見られるようにしている。</li> </ul>	<p>☆記録カードの様式を改善する。低学年はトータルグラフ(時間のグラフ)をなくし、◎○△で記入する。</p> <p>☆保護者の意識を高めるために、PTA研修等で教育委員会や教育事務所の方から、学力向上について現状や県町の取り組みなどについて話していただく。</p> <p>☆各教室に自主学習の例を掲示する。</p> <p>☆リレーノートは継続して実施する。</p>	<p>○前向きに学習に取り組めるひと工夫に期待。私が小学生のころには漢字番付のようなものがあり、漢字テストの出来で横綱までのぼりつめることができた。</p> <p>○家庭学習リレーノートはとても良い取り組みだと思う。</p> <p>○自主学習は毎日簡単なことを少しずつでもできれば今後も継続(中学生)してできるようになり、学力アップにつながると思う。</p> <p>○リレーノートや自主学習ノート、学力アップ週間などとても良い活動だと思う。これからもぜひ続けていただきたい。</p>